

令和8年度 2年 国語科 年間指導計画

学期	月	単元	教材名	時数	主な学習内容
1 学期	4	1 広がる学びへ	見えないだけ	3	○詩の特徴を生かして朗読し、作品を楽しみ味わう。
			アイスプラネット	5	○登場人物の思いを読み取り、それに対する自分の考えをまとめる。 <b>【キャリア】</b>
			意見を聞き、整理して検討する	1	○意見と根拠の適切さについて話し合う。
			魅力的な提案をしよう	5	○テーマを決めて、情報を集め、構成を考え、プレゼンテーションを行う。
	5		枕草子	4	○「枕草子」を読み味わう。 ○自分流「枕草子」を書く。
			漢字に親しもう1	1	○熟語の構成の種類について学ぶ。
	6	2 多様な視点から	クマゼミ増加の原因を探る	5	○構成を捉え、内容を読み取る。 ○考えたことを話し合う。
			思考の視覚化	1	○情報を整理して関係を図で表す、四つの方法を学ぶ。
			職業ガイドを作る	5	○情報を整理して職業ガイドを作り、感想を伝え合う。
			漢字に親しもう2	1	○教科書の練習問題に取り組む。
	7	3 言葉と向き合う	文法への扉1	2	○自立語の各品詞の性質について学ぶ。
			情報×SDGs	3	○メディアを比べて、特徴を理解する。 ○情報を受け取る時の留意点について考える。
	7	3 言葉と向き合う	短歌に親しむ／短歌を味わう	5	○短歌を鑑賞し、一首選んで鑑賞文を書く。 ○目にした情景や感動を短歌に詠む。
			言葉の力	3	○筆者の考えを理解しそれに対する意見を交流する。
言葉1／語彙を豊かに			1	○対義語・対義語・多義語について学ぶ。	
		いつも本はそばに	読書を楽しむ／星の王子さま	2	○翻訳や外国文学について知る。
2 学期	9	4 人間のきずな	ヒューマノイド	5	○登場人物の言動の意味を捉え、作品の印象を伝え合う。 <b>【人間関係】</b>
			字のない葉書	4	○表現に着目し、人柄や心情を読み取る。 ○父親に対する「私」の思いを読み取る。
			質問で思いや考えを引き出す	1	○2人1組になり、互いにインタビューし合う。
			手紙や電子メールを書く	3	○手紙や電子メールを書き、気持ちや要件が伝わったかを互いに伝え合う。
			推敲 表現の効果を考える	2	○手紙の下書きを読み、適切な文字や表記に改める。
			敬語	2	○敬語の働きや種類について理解する。
			漢字2／漢字に親しもう3	1	○類義語や対義語等を問題演習によって理解する。
	10	5 論理を捉えて	モアイは語る	6	○文章の構成に着目し内容を捉え、筆者の意見に対する自分の考えを文章にまとめる。
			根拠の吟味	1	○教科書の問題に取り組む。
			意見文を書く	4	○社会生活からテーマを決め意見文を書き読み合う。
	11	6 いにしえの心を訪ねる	源氏と平家／平家物語／扇の的	5	○登場人物の言動から、心情を考える。 ○読み取ったことを基に自分の考えを述べる。
			仁和寺にある法師「徒然草」から	3	○本文を読み、作者の批判的精神を理解する。 ○人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。
			漢詩の風景	4	○解説を手掛かりに、漢詩を読み味わう。
		7 価値を語る	君は「最後の晚餐」を知っているか／「最後の晚餐」の新しさ	5	○二つの文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。
鑑賞文を書く			2	○作品を鑑賞し、魅力を一文で表す。	
異なる立場から考える／立場を尊重して話し合おう			4	○討論のテーマを決め、情報を集め、考えをまとめて討論する。	
具体と抽象			1	○複数の情報を抽象化や具体例で説明する。	
12	いつも本はそばに	漢字に親しもう4／文法への扉2	3	○教科書の練習問題に取り組む、理解を確かめる。	
		「自分らしさ」を認め合う社会へ／他	2	○教材を通読し、感想を伝え合う。	
3 学期	1	8 表現を見つめる	走れメロス	8	○場面の展開に即して人物像を捉える。 ○作品の魅力をまとめ、語り合う。 <b>【人間関係】</b>
			漢字に親しもう5	1	○教科書の練習問題に取り組む、理解を確かめる。
	2		文法への扉3	2	○練習問題に取り組む、理解を確かめる。
			描写を工夫して書こう	4	○心の動きが伝わるように物語を書く。
			言葉3 話し言葉と書き言葉	2	○例文から話し言葉と書き言葉の違いを考える。
	3		漢字3 送り仮名	2	○送り仮名の主な原則と例外について理解する。
			鍵	2	○表現の意味や作者のものの見方を語り合う。
		国語の学びを振り返ろう	4	○「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る。	

令和8年度 2年 国語科（書写） 年間指導計画

学期	単元	教材名	時数	主な学習内容
1 学期	1 読みやすく速く書くための行書	点画の省略「積雲」	3	・点画の省略を理解して、行書で書く。
		筆順の変化「紅花」	3	・筆順の変化を理解して、行書で書く。
		行書に調和する仮名（いろは歌）	3	・行書に調和する仮名の特徴を確かめて書く。
2 学期		行書と仮名の調和「豊かな森」	3	・行書と仮名の調和を意識して書く。
		硬筆で書いてみよう	2	・行書の特徴を理解し、点画の連続、変化、省略と筆順の変化が強い漢字を硬筆で書く。
		楷書と行書の使い分け	2	・楷書に調和する平仮名との違いを確認し、行書と平仮名を調和させて書く。
3 学期	2 文字を使い分ける	行書を活用しよう	1	・行書に調和する平仮名の筆使いを理解して書く。
		季節のしおり「春はあけぼの」	1	・行書に調和する平仮名の特徴を理解して硬筆で書く。 ・1年間で学習したことを確認する。
		◆書き初めをしよう「将来の夢」「温故知新」	5	・学習したことを生かして書き初めを書く。